



「学修者本位の教育」の 実現へ向けた教場改革

～クラスレベルにおける“これからの授業デザインと実践”～

2019年に公表された「教学マネジメント指針」において謳われる「学修者本位の教育」。これは、学修者である学生・生徒が、自らその学びを実感するための教育活動を意味しますが、現場である教場において、その教え手である教員には何が求められているのでしょうか。

本講演では、学内外で教育工学をけん引する2名の専門家を招き、「学修者本位の教育」の実現にあたり、個別授業で求められる要素や手法について、「これからの授業デザイン・実践ハンドブック」も解説しながら紐解きます。

◇内容・講師◇

※時間は目安です

I. 教学マネジメント指針で示される「学修者本位の教育」を実現するために～コロナ禍での経験から考える教育DXのあり方について～ (15分)	村上正行 (大阪大学)
II. 個別授業レベルで求められる教育の質的転換+事例紹介(25分)	
III. これからの授業デザイン・実践ハンドブック～解説篇～(5分)	澁川幸加 (中央大学)
IV. 授業形態に応じた「学修者本位の教育」の方法とグッドプラクティスの紹介(20分)	
V. 質疑応答・ディスカッション(25分)	村上・澁川



実施方法: Webexによるオンライン開催

対象: 本テーマに関心がある人

FDSDの別: 教員: FD 職員: SD

申込方法: GoogleFormより6月26日(月)までにお申し込みください。

<https://forms.gle/GgzF7QXjTt3WhETS6>

申込時にご登録いただいたメールアドレス宛にWebexのURLをお送りしますので、事前申込みをお願いします。

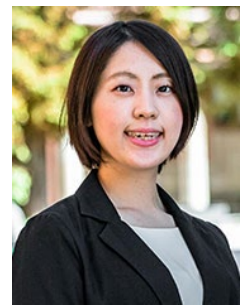


◇講師紹介◇



大阪大学
全学教育推進機構
教育学習支援部教授
村上 正行

大阪大学「スチューデント・ライフサイクルサポートセンター」副センター長。
大学の授業・プログラム改善事例に精通。専門は教育工学、FD等。



中央大学教育力研究開発機構
専任研究員
文学部特任助教
澁川 幸加

2022年11月発行「これからの授業デザイン・実践ハンドブック～デジタル技術活用のヒント～」執筆者。
専門は教育工学・反転授業等。